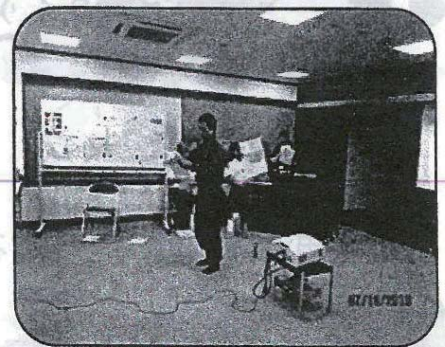


防災ニュース

玉川学区洪水・内水ハザードマップ講習会を開催しました!

草津市から本年4月に全戸配布された「洪水・内水ハザードマップ」の利活用対策として、玉川まち協防災・防犯部会と野路自主防災会のもとに、7月18日新宮会館に於いて、講師に草津市役所河川課 中村・広田・武村さんをお招きし、学区内82名が参加し開催しました。

この講習会で、集中豪雨による急劇な河川水位や地域に降った雨で、河川が氾濫する内水被害に対する有効な河川情報や的確で迅速な在り方などを学び、今後の対策に供することとしました。



洪水・内水ハザードマップって何?

激しい雨が発生した時に、河川の氾濫等で浸水したらどこがどの程度浸水するか、色で表した地図です。

“100年に1度の雨”と言われる雨を想定しています。

(時間雨量 109 mm/h)

ハザードマップの使い方

心筋救急隊での活用【岩手県奥州市での例】

【例】
心筋救急隊から救急隊までの連携を強化し、救急隊員が迅速に現場に到着した。
【例】
救急隊員が現場で取り上げたことの結果、救急隊員が現場に到着した。救急隊員が現場に到着した。救急隊員が現場に到着した。
【例】
救急隊員が現場に到着した。救急隊員が現場に到着した。救急隊員が現場に到着した。
07/18/2013
防災課の報告



災害図上訓練DIGを開催！

危険箇所や避難所確認「冷静な対処」培う

玉川まち協防災・防犯部会と野路自主防災会の活動として、8月24日（土）新宮会館に於いて玉川学区4町内会から58名の参加のもと、市危機管理課員の指導のもと訓練を開催しました。



災害図上訓練は、参加者が大きな住宅地図を囲み、みんなで色々な情報（防災に関する情報）の書き込みを加えながら、ワイワイと楽しく議論するなかで、自分たちが住む町に起こるかも知れない災害の姿をより具体的にイメージして、その対応を考えるという図上(机上)で行う誰もが参加して出来る防災訓練を実施しました。



災害発生時に一人でも多くの人命を救うためには「自分の身は自分で守る」自助や「地域でお互いに助け合う」共助の取組みをすすめることが重要です。今後も「災害図上訓練」を実施し防災意識の向上を目指していきます。

普通救命講習

女性消防隊受講



7月14日(日) 南消防署で女性消防隊

13名が受講しました。

緊急の際の心肺蘇生法とAEDの使用

手順を学び、緊急のときに活用し、町民

の尊い命を救う講習を受講しました。



町内6箇所のAEDどこにあるか、知っていますか？

★野路区事務所玄関前

★コミュニティセンター玄関前

★野路保育園玄関前

★新宮会館玄関前

★小野山児童公園玄関前

★御林山憩いの家玄関前



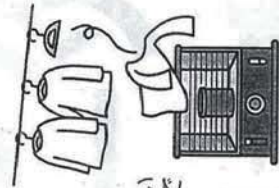
(野路区事務所玄関前)

◎皆さん、6箇所探してみてください！(*^_^*)



2

ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する



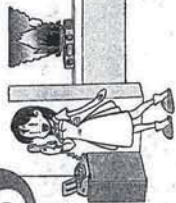
1



遅たばこは、絶対やめる

3つの習慣

3



ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

わっ！油に！！



7つのポイント

住宅防火のいのちを守る

1



逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する

2

寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する



防炎品で安全対策！

4つの対策

3



火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する



4



お年寄りや身体の不目田な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

防炎品には、火にふれても燃え拡がりにくい特徴があります。

熊本市消防局資料より